

# 令和6年度第2回高知市上下水道事業経営審議会 会議録（概要）

日時：令和7年2月17日(月)13：30～16：00

場所：高知市上下水道局本庁舎3階大会議室ほか

出席者【委員】那須 清吾委員，谷 隆委員，井津 葉子委員，長尾 達雄委員，  
西森 やよい委員，古谷 純代委員，北川 一江委員 計7名

【上下水道局】山本上下水道事業管理者，児玉上下水道局長，森岡上下水道局次長 他16名

会議形式 公開

傍聴者 0人

## 1 開会あいさつ

山本上下水道事業管理者から開会のあいさつ

## 2 災害対応拠点の整備及び避難所への応急対策について

那須会長から，本日のスケジュールの説明後，事務局に対し次第2「災害対応拠点の整備及び避難所への応急対策」についての説明依頼があり，川村総務課長から説明。

### 【質疑応答】

#### ○井津委員

9ページの地図に関連して，浄水場周辺を活用した災害対応拠点についてはスペースも広く駐車場も整備されていて，集約された施設として非常に優秀だと思ったが，浄水場周辺まで上がってくる道が今日上がってきたルート以外にもあるのか。もし，このルートが通行できなくなった場合，災害対応拠点として活用できなくなってしまうということを想像したので，別のルートがあるのか伺いたい。

#### ●山本上下水道事業管理者

県道から皆さん上がって来られたと思うが，庁舎の東側から県道まで出られる道もある。ただ，メインの道よりも狭いので，懸念される針木浄水場までのルートは，皆さんが上げて来られたルートが生命線だと思っている。

#### ○井津委員

大量に物資等を輸送する事態になった場合，この道の狭さも課題になってくると思うので，もう一本ルートがあればより安心ではないかと感じた。

#### ●土居水道整備課長

県が策定している道路啓開計画があり，針木浄水場は優先して通行を確保すべき防災拠点として，上位に位置づけられている。

○西森委員

本日の議題にはないが、埼玉県で発生した下水道管に起因する道路陥没事故の件について伺いたい。3ページに下水道の応急復旧に関する記載があるが、こちらは上下水道局の管轄になるのか。

●森岡次長

埼玉県の事案はニュースでもご覧になったと思うが、流域下水道といい、14市町の汚水を受け持っている。高知県には本市の東部と南国市と香美市を受け持つ、浦戸湾東部流域下水道があり、県の管轄となるが、最下流で管径1,650mmであり、汚水幹線でいうと大津バイパスを通過して南国市・香美市へ行っている。3～4年前に点検済みで、現在のところ異常はなく、以降は5年ごとに点検を実施すると聞いている。

それとは別に、本市の場合は公共下水道で市内全域に下水道があるが、耐用年数は標準的なものは50年と言われている。本市の所管する下水道約1,130kmの内、50年を超えている約130kmについて順次点検しており、現状は100km程が点検済みである。点検後は、3段階でランク付けし、状態が悪いものについては、管更生にて順次対策している。

今回、国土交通省が検討委員会を立ち上げ、その中で今後の点検頻度等を検討するというところで、今後、点検頻度や点検箇所が見直される予定になっている。

しかし、点検するにも費用が掛かり、大きい管は人が入って直接目視で行うが、経費込みの概算で1m当たり1,000円程掛かる。人が入れない場合はカメラで見るが、1m当たり3,000円程である。点検頻度が高くなる程、経費も掛かってくるので、下水道使用料にも影響してくる可能性がある。

現時点では、所管内で大きな陥没等は発生していないので、適正な点検を実施していれば、埼玉県のような事案は発生しないと考えている。

○西森委員

これまでの経営審議会の中で、長寿命化みたいな感じで管路を長く使う取り組みをしているという話もあったと思う。ただ、その先のリスクをイメージできていなかったもので、埼玉県事故を見た時にこういう事も起こるのかと思った。

下水道使用料に影響することについて、市民の理解を得るにあたっては、埼玉県事故のようなどてつもなく不幸なことが起きて、なぜ必要なのかということが腑に落ちた時には理解いただけると思うので、今後の議論の場で参考にしたいと思う。

3 水質管理センターにおける取組について

那須会長から事務局に対し、次第3「水質管理センターにおける取組について」の説明依頼があり、堀内水質管理センター所長から説明。

【質疑応答】

○谷委員

以前のニュースで熊本の水道局で事故か何か定かではないが、報道されていたが、何かあったのか。

●堀内水質管理センター所長

有機フッ素化合物（PFAS）に関して全国各地で検出されており、熊本でも検出されている所があるようなので、そのことかもしれない。地下水から有機フッ素化合物が検出されている事例が多い。

○谷委員

高知における仁淀川水系はPFASの心配はないか。

●山本上下水道事業管理者

仁淀川についてはPFASの検出がないので、安心して飲んでいただきたい。

○西森委員

県内の市町村で唯一直営にて水質検査を実施しているということは、他は民間にアウトソーシングしているということだと思うが、結局民間の業者に頼ってしまっているが故に、民間のノウハウを活用すると言いつつ、仕様なんかを民間に支配されているというか、民間業者が出してきた資料がこれしかないので、行政が民間に合わせるしかないというような場合があるように思う。行政が独自にシステム開発していただければいいのと思うが、人材や費用が必要という話になってくる。今回、水質検査を直営で実施しているという話を聞いて、これからも堅持していただきたいと思った。

○長尾委員

7ページの資料で水質が最も良好な河川として、四国では仁淀川と四万十川が選ばれており、近畿地方や関東付近は選ばれてないというデータが出ている。すばらしい仁淀川の源流ということだが、協力金（仁淀川水質等環境保全対策費）を払っていると思うので、市長も変わったので協力金の減額を検討し、少しでも安くおいしい水を提供していただきたいと思う。

●山本上下水道事業管理者

先ほど意見をいただいたアウトソーシングについては、水質検査は県内で唯一、直営で実施しながら、他町村のものも受託している。さらに受託を増やせば良いのだが、人員も限られているので可能な範囲で検討したいと思う。

また、上下水道局の中には、例えば浄水場の運転管理、直営修繕部門、漏水調査、こういうものは、官から民への流れの中で、人員不足ということや、その事業体の考え方にもよるがアウトソーシングしているところがある。

平成7年の阪神淡路大震災のときに、本市も給水車で応援に行ったが、神戸市役所の9階部分が潰れて、ちょうどそこが水道局のフロアだった。今はデータのバックアップを取っているが、その当時はまだそういうことをしていなかった。また、神戸市の水道局は現場の方もアウトソーシングしていたので、職員に現場のノウハウがなかった。そういうこともあるので、可能な限り直営を堅持していきたいと考えており、現在は、市役所採用とは別に上下水道技術という職種で局直営の職員、機械・電気・土木といった技術的な職種を採用し、一定の直営部門のノウハウを継承していきたい。

長尾委員から原水の話が出たが、大阪などでは水道水を作るために高度処理が必要であり、その分費用も多く掛かっていることになる。それに比べて仁淀川は綺麗な原水が取水できているので、最低限の処理で安く皆さんに提供できているので、安心して飲んでいただきたいと思っている。

#### ○古谷委員

素晴らしい水を私たち市民が愛飲できているということで、日頃の皆様の努力に感謝申し上げます。

昔から高知の水はおいしいと言われつつも、7ページにあるような「水質が最も良好な河川」に仁淀川が選ばれていることを知らない方がたくさんいると思う。例えば、広報すいどうのような広報紙でアピールしてもなかなか目に止まらないと思うので、様々な広報媒体を使って、度々になってもいいので広報していくことが大事ではないか。

そういったことを一つ一つアピールしていくことで、安心安全な水を飲めるということ、将来的には、水道料金を改定する際に市民の皆さまに理解していただけることに繋がると思う。

見学会など、小学生、中学生それから一般市民向け、特に女性の方々に上下水道はこんな取り組みをしているということ、年齢層などを考慮し、参加者に合わせて実施していくと、料金徴収・料金改定も受け入れやすくなるのではないかと思う。

先日の埼玉県事故についても、我が身に起こるかもしれないということを皆さん危惧しているところであり、老朽化したものは修繕していくということは当たり前のことなので、修繕により受益者に負荷が掛かってくるということを事前に広報で理解してもらっていただければ、少々値上がっても受け入れられやすいのではないかと思う。

#### ●山本上下水道事業管理者

鏡川や仁淀川、また、吉野川水系の上流からも水をいただいている。そういう綺麗な水を取水できているからこそ、市民の皆さまに安全でおいしい水を飲んでいただけているということをもっと周知していきたい。

小学校4年生で水道に関する授業が行われており、浄水場へ見学に来る学校もある。施設見学や出前授業などで、水の大切さ、高知の水をアピールしているところだが、古谷委員の言われるようにまだまだ足りてないと思うので、今後も広報していきたいと思っている。

また、埼玉県で発生した事案の話があったが、水道でも道路での漏水があり、その原因のほとんどが老朽化であり、漏水調査をしっかりとやりながら、漏水の程度によっては緊急で修繕するなど、予防保全をしている。発生頻度の多いところでは、耐用年数に達する前に入れ替えも行っており、そういうことを市民の皆さんにしっかりと説明しながら、料金改定の際にはお願いしなければ納得いただけないと思うので、ご意見を参考にさせていただく。

#### 4 現場見学（本庁舎周辺施設、水質管理センターほか）

#### 5 閉会

山本上下水道事業管理者から閉会のあいさつ